

令和 6 年度 腹部超音波検査精度管理調査票

施設コード					
-------	--	--	--	--	--

1. 担当者調査

① 担当医（読影医）等について勤務形態別の人数を記入して下さい。

	i) 担当医（読影医）	ii) 認定医・専門医等
常勤		
非常勤		

iii) ii)の医師に関する情報（3名より多い場合は、読影数の多い医師を記入下さい）			
医師氏名	勤務形態	認定団体*1	登録番号
・	常勤 <input type="checkbox"/> 非常勤 <input type="checkbox"/>		
・	常勤 <input type="checkbox"/> 非常勤 <input type="checkbox"/>		
・	常勤 <input type="checkbox"/> 非常勤 <input type="checkbox"/>		

*1：認定医・専門医等の認定団体（欄内に該当する団体の a～e を記入してください。）

- (a) 日本消化器がん検診学会 総合認定医または認定医(肝・胆・膵)
 (b) 日本超音波医学会超音波 専門医
 (c) 日本人間ドック学会 人間ドック認定医
 (d) 日本総合健診医学会・日本人間ドック学会 人間ドック健診専門医
 (e) 日本医学放射線学会 放射線専門医
 (f) 日本臨床検査医学会 臨床検査専門医

② 検査技師 勤務形態別に人数を記入してください

	a) 検査技師	b) a)のうち、専ら 腹部超音波検査を 担当する技師	c) 超音波 検査士	d) 日本消化器がん検診学会、 日本超音波医学会、または 全衛連の講習会に参加している
常勤				
非常勤				

2. 実績調査 令和5年度の実績を記入してください（集計途中の場合は令和4年度でも可）

年齢区分	① 受診者数		② 要精検者数		③ 精密検査 受診者数		④ がん 症例数
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	
39歳以下							
40～49歳							
50～59歳							
60歳以上							
小計							
合計							

3. 検査実施状況調査

① 腹部超音波検査室数

1日に稼働する超音波検査室数 室
 （内訳： 施設内 室、 移動式： 室）

② 腹部超音波健診 1日の平均受診者数 約 名

③ 担当技師の1日の実施人数 約 名

④ 過去の検査画像が確認できますか？

全て確認できる ほぼ確認できる あまり確認できない 確認できない

⑤ 要精検の判定結果を確認できますか？

全て確認できる ほぼ確認できる あまり確認できない 確認できない

4. 精度管理等について（下記で適合している項目に○をしてください。）

① 超音波検査に関する標準作業書がある （ a. ある b. ない ）

② 判定基準は、腹部超音波検（健）診判定 （ a. ある b. ない ）
 マニュアルに準拠している

③ 判定医師名の記録がある （ a. ある b. ない ）

④ 診断装置機器管理台帳がある （ a. ある b. ない ）

⑤ 精度管理責任者及び担当者を決めている （ a. ある b. ない ）

4.-②が「はい」の場合、臓器別・カテゴリーリスト（令和5年度（未集計の場合は令和4年度）に発見された有所見例を記入してください。

		カテゴリー別症例数					
有所見 判定数		0	1	2	3	4	5
肝臓							
胆 道	①胆嚢*2						
	①胆管*2						
	②胆嚢+ 胆管*2						
膵臓							
脾臓							
腎臓							
腹部大動脈							
その他							

*2：胆嚢と胆管を分けて集計している場合は①に記入し、②は空欄として下さい。

胆嚢と胆管を一項目として集計している場合は、②に記入し、①は空欄として下さい。

5. 日本消化器がん検診学会の「超音波検診の実態に関する調査」への協力について該当する項目に○をお願いします。

令和5年度	日本消化器がん 検診学会の調査の 協力に関して	協力した	
		協力できなかった	
協力する予定			
協力予定はない			
令和6年度			